

☆全日程が申請前に終了した事業について申請する場合は、この用紙を使います

事業報告書（交付申請用）

記入例(表)

名簿の人数と合わせてください

申請者・法人・団体名

〇〇〇の会

1. 実施者（団体）について
(1) 会員・運営スタッフ

8	人
うち、市内在住・ 在勤・在学者	5 人

申請内容について、事業担当の方に伺うことがあります

(2) 申請者以外の事業担当者（法人・団体）記入

あり	担当者氏名	小島 布田子
なし	連絡先	042-x x x-0000

(3) 実施者（団体）の概要・活動目的

〈例〉
絵本の読みきかせや紙芝居を中心にした、親子で楽しむサークルです。平成23年10月から開始し、1ヶ月～2ヶ月に1度のペースを目安に活動しています。季節の行事を行ったり、親同士の親睦を深め、情報交換をする場にもなっています。

2. 助成金を充当する事業

(1) 事業名称	物語と手作りで楽しむ季節の行事～おやつ編～
----------	-----------------------

(2) 事業の目的及び内容

ア. 目的
〈例〉
自分の手で作り、味わうことで、親子で季節の行事をより楽しむため。

イ. 内容
〈例〉
普段は、季節の行事についての絵本の読みきかせと工作をしています。今回は、絵本を紙芝居に、工作をお菓子づくりに代えて、季節の味を知る企画にしてみました。4月⇒桜・お花見=桜餅、5月⇒端午の節句=柏餅

(3) 事業を実施した感想（良かったこと、工夫したこと、気付いたこと、反省点など）

〈例〉
桜餅は、関東風と関西風を作って、地域による食文化の違いを意識できるようにしました。とにかく手間のかからないレシピにして、紙芝居とお菓子作りの2本立てでも時間内に終わることができましたが、片付けがあわただしくなってしまったので、お菓子づくりだけの回にした方がよいと思いました。

(4) 参加者（運営スタッフ以外）の声・様子など

〈例〉
2回とも、思っていたより簡単に作れたと、好評でした。丸めたりこねたり、お子さんも一生懸命、楽しそうにできていました。

(5) 今後の目標や課題

〈例〉
番外編として開催したところ、かなり好評だったので、工作の回と交互には無理でも、半年に1度はお菓子作りの回を入れるなどして続けていきたいです。食育に目を向けた内容になっていけたらと思います。

☆全日程が申請前に終了した事業について申請する場合は、この用紙を使います

記入例(裏)

3. 具体的な事業内容

(1 枚目 / 2 枚中)

この用紙は複数枚になってもかまいません。全体で何枚あるうちの、何枚目にあたるのかを、()に記入してください。

実施日時(開始とおおよその終了時刻)、会場、運営スタッフ以外の参加人数(例:大人○人、子ども○人)、当日のプログラムなど、自由に記入してください。当日の様子を添えていただくこともできます。
当日の資料やチラシなど、事業の様子がわかる資料がありましたら、一緒に提出してください。